

家族参加型の非遺伝子組み換えプロジェクトを通じた新型コロナ対策3GO

**キーワード** 非遺伝子組み換え、健康的な食習慣、家族参加型・体験型教育、持続可能性

**活動の目的・目標**

1. 学校が推進する非遺伝子組み換えプロジェクトのために、持続可能で効率的な教育プログラムを運営することによって、生徒と保護者の興味を高め、参加を促進し、健康的な食習慣を育む。
2. 学校給食の信頼性と質を高める為に、生徒と保護者が参加する体験型活動を実施して、フィードバックを集める。
3. 学校給食の質を高めることによって、関係者の期待に応える。

**活動の対象者** 幼稚園児、小学生（1～6年生）、保護者、教員

**活動内容**

- ・ 期間：2019年4月～2021年2月（食の安全・栄養教育プロジェクトの一環として）
- ・ 場所：Daejeon Songchon小学校の近隣エリア
- ・ 内容：学年別・家族参加型のプログラムの実施（対面およびオンライン教育）



【3GO】これらは韓国の言葉遊びで、“ゴ”は英語の“Go”と音が似ており、行動ステップを表します。このフレーズは「正しい方法で学ぶ」「正しい道を選ぶ」「正しい方法で食べる」をそれぞれ意味します。

1. 内容と方法の詳細

区分	推進内容	詳細
計画	計画立案	運用を組み立てる
最初の基礎	非遺伝子組み換えのメニューを作成	非遺伝子組み換えの食材を使った食事プランを作成する。
	食材の展示と推進の取り組み	非遺伝子組み換えの食材を展示し、推進する（保護者による監督付き）。

活動内容

3GO+ プロジェクト1	食品安全に関する体験型教育（生徒、保護者、教員）	非遺伝子組み換えの食材を使って体験型の活動を行う（例：韓国の伝統的な赤唐辛子ペースト「コチュジャン」をつくる）。
	非遺伝子組み換えをテーマとしたイベントの実施	6年生を対象に「遺伝子組み換えと非遺伝子組み換え」を使った3行の折句を作るイベントを主催し、優秀なクラスには賞を授与する。 最優秀の句を決めるため、シールで投票する（教員と保護者）。
	伝統的な食の遺産に関する教育（非遺伝子組み換え食品）	幼稚園児、2年生、3年生対象の「君はどこから来たの？コチュジャン（韓国の伝統的発酵ペースト）」活動 紙コップを使って、コチュジャンのギフトバッグを作る（幼稚園児、2年生、3年生）
	食の安全・栄養教育	牛乳に含まれる人工着色料が及ぼす悪影響について学び、健康的な牛乳を飲むことを推進する。
中期運用評価	調査の実施（教育実施の前後）	非遺伝子組み換え製品に対する認知の変化を評価するために調査を実施する（生徒、保護者、教員）。
	実績報告（市教育局）	「食の安全・栄養教育」の実績報告セッションに参加し、推進する。
3GO+ プロジェクトII	食の安全・栄養教育および家族参加型・体験型の教育 	・安全な食材に関する教育：「遺伝子組み換え成分が含まれていない食品について学び、食べてみよう」（オンラインおよびリモート学習）  ・家族参加型のプログラム（生徒および興味のある保護者対象） ・非遺伝子組み換えの食材を選ぶ体験型活動  -4年生：もやしを育てる（非遺伝子組み換えの国産大豆を使用） -5年生：簡単なコチュジャンをつくる（非遺伝子組み換えのチョングッチャン粉末を使用） -6年生：豆腐を手作りする（非遺伝子組み換えの国産大豆を使用） 味わう：遺伝子組み換え食品の試食活動 
	非遺伝子組み換えをテーマとしたイベントの実施	学年別に折句を作るイベント（全生徒・対面式授業） 4、5、6年生：もやし、赤唐辛子ペースト、手作り豆腐
	伝統的な食の遺産に関する教育	遺伝子組み換え成分が含まれていない、安全で伝統的な食の遺産に関する教育 -伝統的発酵食品の優れた点に関する教育（4、5、6年生ーリモート授業） -コチュジャンの伝説！（幼稚園・対面教育） -コチュジャンはどうやってつくる？（幼稚園・対面クラス）
	食の安全・栄養教育	-甘さ控えめ、塩分控えめ、今すぐに -甘いものを食べる量を減らそう！ -塩からいものを減らそう！ / 食品ラベルをチェックしよう！

活動内容

教育による改善の評価	満足度調査の実施	家族参加型のプログラムについて、満足度調査を実施する。
	糖分・塩分摂取量削減教育の有効性に関する調査	糖分・塩分摂取量削減教育の効果に関する調査結果の分析

II. 主な教育イニシアチブ

1) 遺伝子組み換え食品のラベルの管理に関する教育と推進の取り組み

遺伝子組み換え（GM）食品に関する教育の取り組みの一環として、6年生とその保護者、教員を対象に「遺伝子組み換え成分が含まれていない食品について学び、食べてみよう」と題したプログラムを実施した。さらに、4年生から6年生を対象に、遺伝子組み換え成分が含まれていない安全な食材の選び方を教えるリモート学習セッションも開催した。

		
遺伝子組み換え成分が含まれていない食品について知り、食べてみよう (6年生)	遺伝子組み換え成分が含まれていない食品について知り、食べてみよう (保護者)	遺伝子組み換え成分が含まれていない食品について知り、食べてみよう (教員)

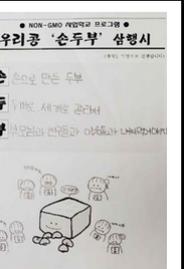
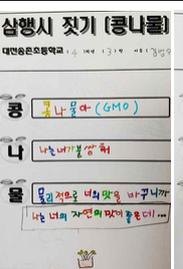
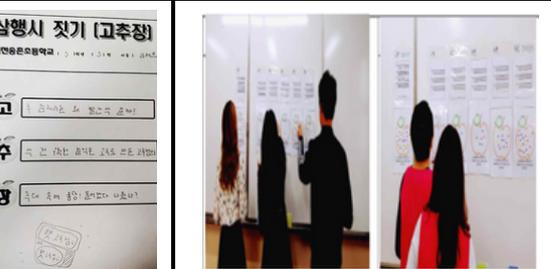
2) 遺伝子組み換え成分が含まれていない安全な食材を使った体験型活動と研修

伝統的な発酵食品を守る教育イニシアチブの一環として、6年生とその保護者、教員を対象にし、非遺伝子組み換えの食材を使って簡単なレシピで伝統的な「コチュジャン」（韓国の赤唐辛子ペースト）を作る体験型活動が行われた。さらに、家族参加型・体験型教育プログラムの一環として、4年生から6年生が参加する活動も実施し、非遺伝子組み換えのもやしの栽培、非遺伝子組み換えの簡単なコチュジャン作り、豆腐の手作りが行われた。こうした活動により、非遺伝子組み換え食材を理解し、選び、使う機会が、体験型学習として提供されている。

活動内容

		
教員対象研修 (伝統的コチュジャン作り)	保護者対象研修 (伝統的コチュジャン作り)	6年生対象研修 (伝統的コチュジャン作り)
		
非遺伝子組み換えのもやしを 育てる (4~6年生)	非遺伝子組み換えのコチュジャンをつくる (4~6年生)	非遺伝子組み換えの豆腐をつくる (4~6年生)

3) 「遺伝子組み換え成分が含まれていない食品について学び、食べてみよう！」研修後、折句づくりのコンテストを実施  
 遺伝子組み換え成分が含まれていない安全な食材をテーマにして、全ての生徒を対象に、折句コンテストが実施された。このイベントを評価し、推進するために、学校の教員と保護者が参加して、最も優秀と思う作品にステッカーを貼り、傑出した作品を表彰し、このテーマへの関与を後押しした。

			
優秀作品	折句をつくる	作品の評価と推進の取り組み (シール投票)	

活動内容

4) 遺伝子組み換え成分を含まない伝統的な食を守る教育

安全な非遺伝子組み換え食材を使うことで伝統的な食を守る教育の一環として、幼稚園児、2年生、3年生を対象に、「コチュジャン、君はどこから来たの？」をテーマにした教育を実施し、コチュジャンのギフトボックスを作るという体験活動を行った。さらに、幼稚園児を対象に、コチュジャンの伝説やコチュジャンには何が入っているかについての教育も行った。また、「甘さ控えめ、塩分控えめ」教育の一環として、3年生を対象に遺伝子組み換え食品に含まれる砂糖について学び、その量を減らす活動を行い、5年生には食品ラベルを確認して塩分を減らす教育を実施した。

		
<p>遺伝子組み換え成分が含まれていない食品の安全と栄養に関する教育 (幼稚園児)</p>	<p>遺伝子組み換え食品に含まれる砂糖を減らす教育 (3年生)</p>	<p>食品ラベルをチェックしよう！ 教育 (5年生)</p>

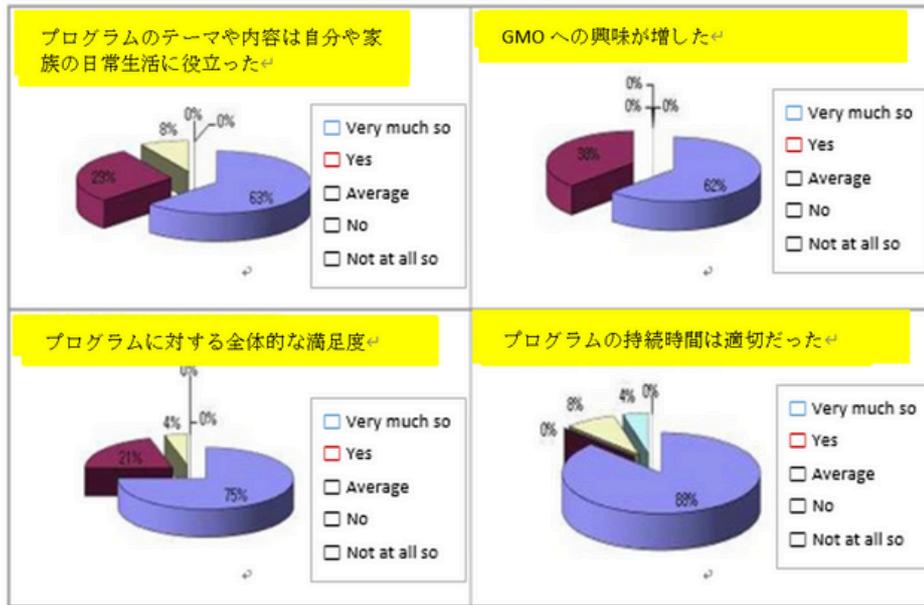
5) 食の安全・栄養と食生活に関する教育の実績報告会議と推進活動への参加

		
<p>遺伝子組み換え成分が含まれない学校給食の実績報告会議への参加と推進の取り組み</p>	<p>非遺伝子組み換え教育を受けた後の、実践の誓い</p>	<p>安全な食材に関する教材の展示 (幼稚園、2年生、3年生対象)</p>

活動内容

III. 実施の結果と運用実績

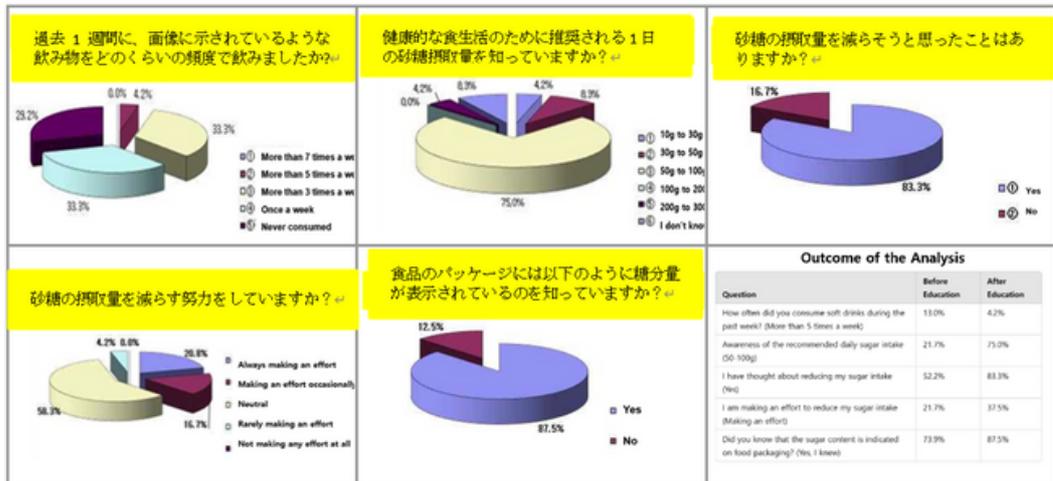
1) 家族と共に行う体験型プログラムの実施に関する満足度調査の結果（教育後）



この調査結果によると、プログラムのテーマと内容は実用的で日常生活の役に立ち、遺伝子組み換えへの興味と実施についての全体的な満足度も高いことが分かった。ある保護者のフィードバックには、「今年、自宅で子どもと一緒にコチュジャンを作れたことがとてもよかった。非遺伝子組み換えの国産食材だけを使用することで安心できたと同時に、家族の食習慣を見直す機会にもなった」とあった。

結果として、学校は、給食サービスへの信頼を確立させ、生徒と保護者の間の教育的なつながりを強化することができた。さらに、活発なコミュニケーションを必要とする体験型活動を行ったことで、給食への理解をさらに深めることができた。

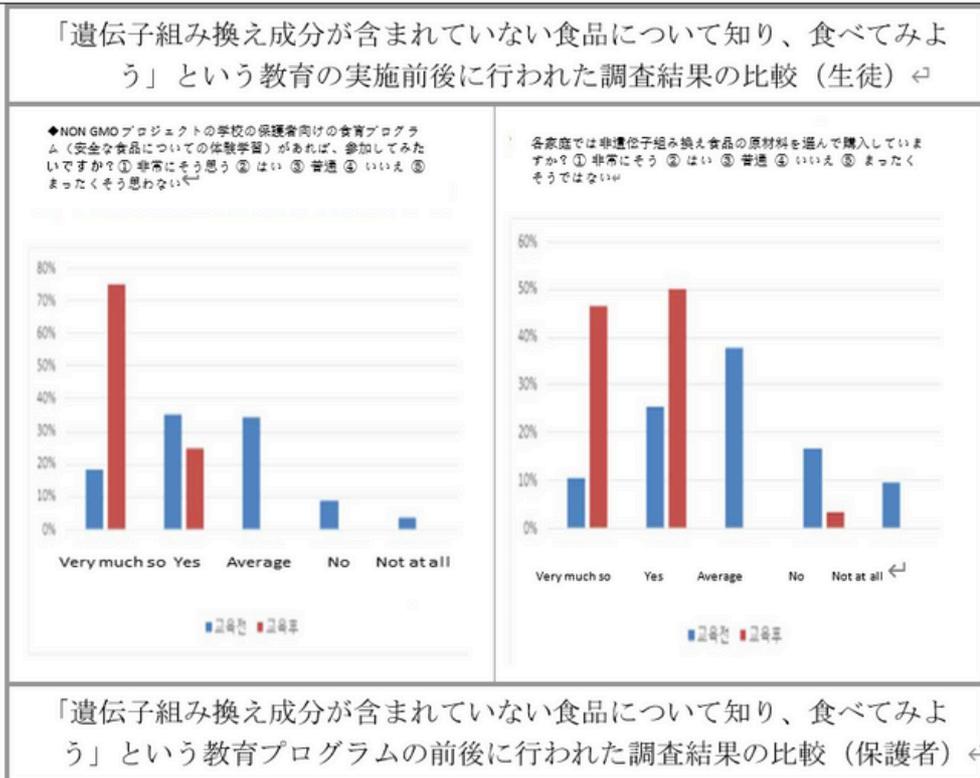
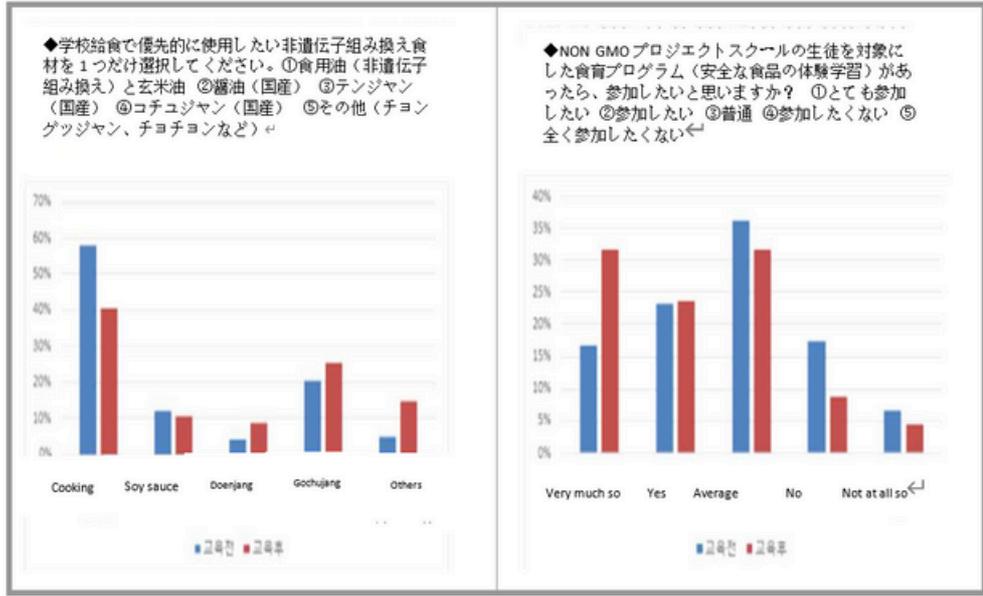
2) 食の安全・栄養教育に関する調査の比較分析（教育実施後）



1日当たりの砂糖摂取量に関する教育は、加工食品のラベルで砂糖含有量を確認することに対する意識を高めるのに役立った。さらに、砂糖の過剰摂取によって発生する問題に関する授業では、日常生活で砂糖摂取量を減らすための実行可能な戦略を実際に実行することの重要性が強調された。

活動内容

3) 「遺伝子組み換え成分が含まれていない食品について知り、食べてみよう」という教育プログラムの実施前後に行われた調査の結果



「遺伝子組み換え成分が含まれていない食品について知り、食べてみよう」という教育プログラムの前後に行われた調査結果を比較してみると、肯定的な答が増え、認知度と満足度が大きく向上したことが分かる。非遺伝子組み換え食品のプログラムの運営に関する調査の追加コメントの中で、ある保護者は次のように述べている。「健康的な食品が健康な体をつくるという信念を持って、私は非遺伝子組み換えプログラムの運営を支持する。」 遺伝子組み換え食品に関する教育は、安全な食材に対する認識を高め、教育を体験学習と組み合わせることによって、非遺伝子組み換えに関するプログラムの効果を最大化した。さらに、学校給食の質を高めて生徒や保護者の期待に応え、適切な食品を購入することに合理的な基準を与えることになった。

## 活動の特徴

1. 学校給食に健康的で安全な非遺伝子組み換え食品を使うことによって、学校給食サービスの安全性と信頼性が向上した。
2. 教育活動を継続的に行うことによって、安全な食品に関する認識が高まり、伝統的な食品を好む傾向がかなり強くなった。
3. 様々な家族参加型・体験型の教育プログラムと、積極的な推進の取り組みを通して、生徒と教員、保護者は、適切な認識（「正しく知る」）、適切な選択（「正しく選ぶ」）、適切な食習慣（「正しく食べる」）に焦点を当てた活動を見事実践し、食習慣を改善した。
4. プログラムは学校給食と家庭のつながりを強化するように作成された。そのため、学校給食サービスをよく知るようになり、家族関係が改善され、生徒および教員、保護者の健康がさらに増進された。

## 参加者の声、感想

○もやしを育てるという体験を通して、非遺伝子組み換え食品への興味がさらにふくらんだ。自分で育てたもやしを調理して食べることができたのはとてもよかったし、好き嫌いを克服するきっかけにもなった。(Kim \* Min : Daejeon Songchon小学校、4年3組生徒)

○今年、自宅で子どもと一緒にコチュジャンを作ったが、それがとてもよかった。非遺伝子組み換えの国産の食材で必要なもののみが使われているということに、非常に安心した。家族の食習慣を見直す必要があると思った。(Daejeon Songchon小学校、保護者A)

○私は、健康的な食品が健康な体をつくるという考えのもと、非遺伝子組み換えプロジェクトを支持する。(Daejeon Songchon小学校、保護者B)

○非遺伝子組み換えについて、生徒たちへの教育を続けてほしい。非遺伝子組み換えの授業は非常に価値のある教育だった。ありがとうございます。(Daejeon Songchon小学校、保護者C)

## 参考情報

- Technical Guidelines for Sponge City Construction, China Academy of Urban Planning and Design, 2018.
- Jinan Sponge City Construction Leading Group Office, Jinan Sponge City Construction Plan (2016-2030).
- Ministry of Housing and Urban-Rural Development, Guideline to Promote Building Sponge Cities, 2015.

## 団体・組織情報

- 【団体・組織名】 Daejeon Songchon小学校
- 【設立年】 1999年
- 【所在地】 35, Dongchundang-ro 54beon-gil, Daedeok-gu, Daejeon, Korea
- 【団体概要】 生徒数合計633（2024年時点）、教員数51

## 担当者情報

- 【担当者名】 Seong Min-kyung
- 【所属】 (前) Daejeon Songchon小学校 (現) Daejeon 科学高等学校
- 【E-mail】 sigmago2@naver.com